

ジェンミ新聞

第5号
発行 苫小牧市
協働・男女平等参
画室

多様な人材が
ともに働く

先進的な障がい者雇用について

令和5年10月31日(火)に、第5回となるジェンミを開催。第一部はスシローなどを運営する㈱FOOD & LIFE COMPANIESの人財部人財開発課 森嶋咲野氏、荒木慶氏による「障がいのある皆さまとともに働く」の講座をジェンミメンバー17人が受講した。

先進的な障がい者雇用の仕組み

ひげやヒジャブの緩和や企業主導型保育園など様々な働き方に取り組むF&L C。障がい者雇用の目的として企業理念に「個性あつての多様性。」を掲げた。障がい者と一緒に働きたいと思わせる仕組みと同時に障がい者が自信を持つて働くことができる仕組みの両方を作った。

困りごとを解消

任せる仕事は、既存業務から切り出し、会社の困りごとを解消する業務に徹底。障がい者は、困りごとを解消する仕事を担い、なく

F&L Cのすばい取組み!

- ▼店舗に丸投げしない組織を構築!
- ▼ラブベースの受け入れ体制を醸成!
- ▼障がい者が居て助かる構造作り!
- ▼障がい者本人が業務の達成度を判断できる仕組み!
- ▼障がい者の時給を一般と同額に!
- ▼障がい者の人件費を本社負担に!
- ▼会社の困りごとを解消する特例子会社を設立!



自分の存在価値が楽しい心地の良い居場所になるような意識を持ちます

個性を正しく理解し、理解させます

それぞれの個性を知ることから始めます

第二部では、ジェンミメンバーで対話し、一人ひとり行動宣言を発表。

職員同士がサポートしあえる職場環境をつくります

会社内の障がい者雇用の環境整備を実施します

皆さんにおススメします

全ての人が輝ける職場を追求します

障がい者雇用のために何が出来るかを宣言



障がいのあるなしに関係なく接していきます

業務の細分化をします

既存の業務を分析し、障がい者の方を雇用できるような環境を満たします

アンコンシャスバイアスに気をつけます

継続した雇用を検討します

障がいのあるなしを含めて誰もが誰かにとって必要なひとりであることを伝えていきます

障がい者の皆さんの可能性を信じます

地域活動において一緒に活動してもらうよう声掛けします

工業・雇
用
振興課
情報発
信します

障がい福祉課
特性をみて
いきます

語り合いま
す

企業とのか
けはしに

障がい者理解を学び
ます

今日聞いたお話を職
場で伝えます

テーマは障がい者雇用。熱心な議論に関する高さを感ずる。人手不足を課題とする企業や団体がある一方で、活躍の場を求め、活躍の場を求る現実。スシローさんの「個性あつての多様性」という言葉が強く印象に残っている。個性を認めあうことが、ダイバーシティ、ジェンダー、様々な課題を解決する糸口になるはず。よし、頑張ろう。

編集後記

令和6年4月～ 法定雇用率が引き上げられます

	5年度	6年4月	8年7月
法定雇用率	2.3%	2.5%	2.7%
対象事業主の範囲	43.5人以上	40.0人以上	37.5人以上



▲障がい者雇用について話し合う市長とメンバー。今回、市職員も特別参加。

法定雇用率ってなんだろう?

ワークライフバランスの観点からも、ジェンミメンバーからテーマにしたいという希望が多かった障がい者雇用。これは、法定雇用率が大きく関わっています。障がいに関わらず、誰もが職業を通じた社会参加のできる社会の実現を目指し、全ての事業所が雇用する義務がある障がい者の割合を「法定雇用率」と呼んでいます。



▲市長と講師の森嶋咲野氏(右)と荒木慶氏(中央)。